



丘の上の家に今日も響く  
子どもたちの賑やかな声

天竜川西岸の段丘の上にある  
Sさんのお宅に、今日も賑やかな声が響きます。お客さんは、娘さん家族と娘さんの友人家族。20人ほどが集まつてピザパーティーです。

こんなふうにS邸に人が集まるのは珍しいことではありません。ブール遊びに流しそうめん、餅つき、バーベキューなど、楽しい催しのたびに、普段は三人暮らしのこの家へ、たくさんの子どもや大人が、自然と集まつてくるのです。



No 01

Special Report

Builder /

井坪工務店

Note /

南信地区 S邸

家族構成 3人

人寄りのうれしさと  
夫婦の時間のやすらぎと

今と将来の自分たちに  
ちょうどいい家に建て替える



S邸は同じ場所にもともとあった家を建て替えたものです。以前の家は70坪もある大きなものでした。しかし、いちばん当たりの良い場所にあるのにめったに人を通すことのない座敷をはじめ使われない部屋が多く、屋内は寒くて、特にお風呂は寒いだけでなく湿気もこもりがちで辛かつたと言います。

「少しでも早く建てたい」。それでも旧宅を建てたご主人のお父様のことを思って、お父様の一周忌という節目を迎えてから、井坪工務店に声をかけました。腕前にも心にも磨きをかけた自社大工が施工思いの確かな家をつくること、WB工法により断熱や換気が行き届いた年中快適な家であることが、同社を選んだ理由です。

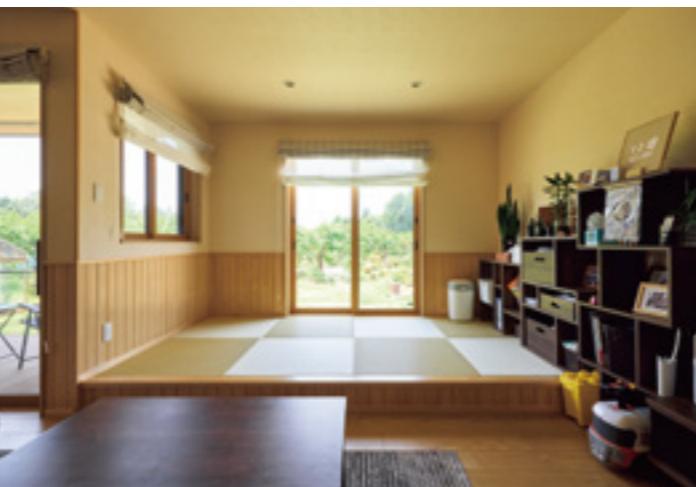
少人数で暮らす家だから小さな平屋で十分。毎日過ごす場所をいちばん快適に。この先のことも考えれば、手すりは付けられるところ全部に。こうした要望を取り入れて、2024年の秋、自分たちの今と将来にちょうどいい家ができました。



リビングの小上がりは畳敷きにしました。普段は食後のひと休みに使い、娘さん家族がやってくると子どもたちの遊び場になる。用途を限定しない使い勝手のいい空間が、豊かな時間を運んでくる。



週末になると人が集まることの多いこの家では、台所仕事も大忙し。でも、キッチンを中心とした動線が合理的で、調理も料理の配膳も片づけもスムーズにこなせる。



ピザ釜も手づくり。ピザを焼くのもお手のもの。まるで小さな保育園みたいな様子にも、「お客様がいて、『おやじさん』がいるよ」と、ご主人も頗る微笑む。

庭には防火水槽代わりにと年ほど前に据えたブーレがあります。夏がくると、わが子だけではなく近所の子たちもこのブーレで遊び、お腹が空けばご主人お手製の流しそうめん台に集いました。彼らが家族をもった今、今度はその子どもたちがブーレではしゃぎ、親たちと一緒にそうめんを味わいます。

「人寄りは楽しい」。そう夫妻は口をそろえ、庭にバーベキューを。コーナーやピザ釜を自作したご主人。パーティ当日、キッチンで用意した食材を勝手口から会場へうれしそうに運ぶ奥様。一方、お客様がいない日は、畠仕事や庭仕事をしたり、テラスでコーヒーを飲んでくつろいだり。

人寄りのうれしさも、家族だけの時間のやすらぎも、このがくれた気持ちのゆとりのおかげで、少し増えたみたいです。



我が家が始めたのを機に、ご主人は長年携わってきた土木会社の経営から退きました。ゆったりと第二の人生を楽しもうと考えたからです。平日はフルに働き、土日は祖父の代からの果樹園を世話する暮らしにひと区切りをつけ、自給に足る野菜を育てながら日々を過ごしています。

変わらないのは、家の前に広がる桃やりんごの木々と、その実りを毎年楽しみにしている親戚の人たち、そして折に触れ訪ねてくる娘さん家族やその友人家族です。

この家に暮らしてから  
気持ちにゆとりができた



庭の芝はご主人が自分で張り、大人数でバーベキューができる屋根付きスペースもご主人がつくった。ゲストとホストの隔てなく皆が同じ時間を楽しむ。





家の前に広がるのは、祖父の代からの果樹園。収穫したりんごや桃は家族でいただくほか親戚などへも送る。和風庭園の隣には防火水槽代わりのプールがある。夏には、孫や近所の子どもたちがここで遊んで歓声を上げる。土地の恵みとつながり、人とつながる住まいだ。これからもきっと。